

VIO脱毛でよくある後悔は？後悔しないためのコツやクリニックの選び方を解説！



VIO脱毛で後悔したという言葉を目にすると、施術を検討している方の中には不安を感じる方も多くでしょう。

実際に、「痛みが強いのでは？」「費用が高くなってしまふのでは？」といった不安や疑問の声は少なくありません。

そこで本記事では、VIO脱毛でよくある後悔ポイントと後悔しないための対策法、さらに失敗を避けるためのクリニック選びのポイントまで詳しく解説します。加えて、施術前に準備しておきたい自己処理の方法や、痛みを軽減する工夫についても紹介します。

この記事を読めば、VIO脱毛を安心して受けるために必要な知識が身につく、後悔のない選択ができるようになるでしょう。

<h2>VIO脱毛でよくある後悔</h2>



VIO脱毛は衛生面や快適さ、自己処理の手間を減らせるなど多くのメリットがあります。しかし一方で、「思っていたのと違った」と感じて後悔するケースも少なくありません。ここでは、実際に多く聞かれる後悔の内容を紹介します。

<h3>施術部位からまた毛が生えてきた</h3>

VIO脱毛を受けたものの、しばらくすると毛が生えてくるケースがあります。これは、毛周期の関係で、一度の施術ではすべての毛根にアプローチできないためです。

エステ脱毛の場合は光の出力が弱く効果が限定的なため、回数を重ねても毛が完全になくならず「思ったほど減らなかった」と後悔する方も多いです。医療脱毛は高出力レーザーで毛根を破壊するため、少ない回数で長期的な減毛効果を得やすい傾向にあります。後悔を減らすには、自分に合った適切な施術方法を選ぶことが大切です。

<h3>施術が恥ずかしかった</h3>

VIO脱毛では、デリケートゾーンを看護師に見せる必要があるため、施術時に恥ずかしさを感じる方も少なくありません。初めての施術では、紙ショーツを使用していても「他人に見られるのが嫌だ」と感じる方が多いです。

しかし、クリニックのスタッフはプロフェッショナルであり、多くの施術経験があるため過剰に心配する必要はありません。施術中は必要最低限の露出になるよう配慮されることが多く、安心して受けられる環境が整えられています。不安な方は事前にカウンセリングで、施術の流れや配慮について確認しておくとい良いでしょう。

<h3>痛みが強かった</h3>



VIO脱毛は痛みを感じやすい部位の1つです。ラインやOラインは皮膚が薄く神経が多いため、輪ゴムで弾かれるような痛みや熱感を感じる方が多いです。ただし、痛みの程度は施術機器の種類や個人の肌質によって異なります。

最近では、蓄熱式脱毛機や麻酔クリームの利用で痛みを軽減できる方法も増えています。痛みが気になる方は、カウンセリング時に痛みが少ない機器を選べるかどうかを確認し、自分に合った施術方法を選びましょう。

以下の記事では、VIO医療脱毛の痛みはどれくらいか解説しています。痛い理由や痛みを抑える方法も解説しているので、ぜひ参考にしてみてください。

[「VIO医療脱毛の痛みはどれくらい？痛い理由や痛みを抑える方法も解説」](#)

<h3>生理周期に合わせて予定を組むのが大変</h3>

VIO脱毛はデリケートゾーンを扱うため、生理中の施術は衛生面や痛みのリスクから基本的に受けられません。そのため、生理周期に合わせて予約を調整する必要があり、仕事やプライベートとの両立が難しいと感じる方もいます。

忙しい方にとっては「予約変更が続き、予定通りに通えなかった」ということも多いのではないのでしょうか。生理周期をアプリで管理する、余裕を持ってスケジュールを組むなどの工夫をすることで、スムーズに通いやすくなります。

<h3>元々の黒ずみやたるみが目立つようになった</h3>

VIO脱毛後に「肌の黒ずみが気になるようになった」と感じる方もいます。これは、毛がなくなること、隠れていた皮膚の色素沈着やたるみが目立つようになるためです。

自己処理による長年の刺激で色素沈着が強い場合、脱毛しても滑らかな見た目にはなりにくいことも少なくありません。施術前から黒ずみが気になる場合は、ピーリングや美白ケアを併用すると改善が期待できます。脱毛だけでは解消できない部分もあるため、事前に理解しておくことが大切です。

<h3>肌トラブルが起こった</h3>



VIO脱毛では、以下の肌トラブルが起こる可能性が高いです。

- 炎症・やけど
- 硬毛化
- 毛嚢炎
- 色素沈着

それぞれの症状を詳しく解説します。

<h4>炎症・やけど</h4>

高出力のレーザーを使用する医療脱毛では、まれにやけどや炎症が起こることがあります。特に、日焼けや乾燥がある状態で施術を受けると、肌がダメージを受けやすいです。

ただし、多くのクリニックでは事前に肌の状態を確認し、適切な出力で施術することで、トラブルのリスクを最小限に抑えています。施術後は、保湿を徹底することが大切です。万が一、炎症が起きた場合には速やかにクリニックに相談しましょう。

<h4>硬毛化</h4>

まれに、脱毛を受けた毛が逆に太くなる「硬毛化」が発生することがあります。細かいメカニズムは解明されていませんが、産毛が多い部位で見られます。硬毛化が起きた場合、多くのクリニックでは無料で追加施術に対応していますが、念のため事前に確認しておきましょう。

以下の記事では、医療脱毛で硬毛化が起こる原因を解説しています。対処法や予防方法が気になる方は、ぜひ参考にしてみてください。

[医療脱毛で硬毛化が起こる原因とは？対処法や予防方法も徹底解説！](#)

<h4>毛嚢炎</h4>



施術後、毛穴に細菌が入り込むことで炎症を起こす「毛嚢炎」も肌トラブルの1つです。毛嚢炎は、汗をかきやすい部位で発生しやすく、VIO脱毛後に適切なケアを怠ると起こりやすい症状です。施術後は肌を清潔に保ち、緩めの下着を着用するようにしましょう。

以下の記事では、医療脱毛で毛嚢炎になる原因を解説しています。予防法や対処法が気になる方は、ぜひ参考にしてみてください。

[医療脱毛で毛嚢炎になる原因とは？予防法や対処法を徹底解説！](#)

<h4>色素沈着</h4>

VIOは、下着の摩擦や自己処理による刺激で色素沈着が起こりやすい部位です。脱毛によって毛がなくなると、皮膚の色ムラや黒ずみが余計に際立つことがあります。その結果「脱毛したのに見た目が綺麗にならない」と後悔する方も少なくありません。

色素沈着が気になる方は、脱毛と並行して摩擦を減らす生活習慣を意識し、美白用のスキンケアや美容皮膚科での治療を検討すると良いでしょう。事前にカウンセリングで肌状態を確認してもらうこともおすすめです。

<h3>仕上がりのデザインが気に入らなかった</h3>

VIO脱毛では事前にデザインを決めます。しかし、施術後に「思っていた形と違った」「頼んだデザインと違った」と感じる方もいます。ナチュラルな仕上がりを希望していた方が、形を決めずに脱毛を進めた結果、不満を抱えるケースが多いです。

そのため、カウンセリングや施術時に具体的なデザインを伝えると安心できるでしょう。

<h3>ハイジニーナを選択した</h3>



VIO脱毛ですべての毛をなくす「ハイジニーナ」を選んだものの、その後の印象の変化やパートナーの意見で後悔する方もいます。医療脱毛は永久脱毛のため、施術を重ねツルツルに近い状態になると元に戻すことは難しいです。

衛生的で快適というメリットがある一方、「すべてなくすのではなく一部残せば良かった」と思うケースも少なくありません。ハイジニーナを選ぶ際には、自分のライフスタイルや将来の考え方をしっかり検討し、事前に部分的にデザイン脱毛を試すのがおすすめです。

<h3>予定よりも費用が高額になった</h3>

「思った以上にお金がかかった」というのもVIO脱毛でよくある後悔です。エステ脱毛は1回の料金は安くても、光の出力が弱いため多くの回数が必要になり、結果的に医療脱毛よりも高額になることがあります。

医療脱毛は、少ない回数で脱毛効果を実感できるため、最終的にはコストを抑えられることも多いです。費用だけでなく、効果や通う回数を考慮して、自分に合った方法を選ぶことが重要です。

<h3>脱毛後に痛みや赤みが続いた</h3>

VIOは皮膚が薄く敏感な部位のため、脱毛後に痛みや赤みが数日続く場合があります。初回や日焼け後、乾燥している状態では反応が強く出やすいです。なかには、「痛みに耐えられなかった」「赤みが引かずに不安になった」と後悔する声もあります。

冷却や保湿を適切に行えば改善するケースが多いですが、不安な場合は早めにクリニックへ相談することが大切です。痛みが心配な方は、麻酔クリームを利用できるか事前に確認しておくとうれしいです。

<h2>VIO脱毛で後悔しないためのコツ</h2>



VIO脱毛はデリケートな部位であるため、メリットだけでなくリスクや注意点も理解したうえで取り組むことが大切です。後悔を避けるためには、いくつかのポイントを押さえる必要があります。

<h3>医療脱毛を選択する</h3>

後悔しないためには、まず医療脱毛を選ぶことが重要です。医療レーザー脱毛は、高出力で毛根や毛乳頭を破壊し、少ない回数で効果を得やすいのが特徴です。一方、エステ脱毛は痛みが少なく料金も安いですが、医療用レーザーと比較して出力が弱いため何十回も通う必要があり、最終的に費用が膨らみやすくなります。

医療脱毛は1回ごとの費用が高くても、短期間で高い効果が期待でき、長期的にはコストを抑えられるケースも多いです。効果の持続性や安心感を重視する方におすすめです。

<h3>希望のデザインをしっかり伝える</h3>

VIO脱毛では、仕上がりのデザインが思っていたデザインと異なり、後悔することがあります。そのため、カウンセリングの際に、自分がどのようなデザインを希望しているかを明確に伝えることが大切です。

ハイジニーナにするのか、自然な形に毛を残すのか、具体的なデザインを相談しましょう。施術前に過去の事例写真を見せてもらいながら完成イメージを共有することで、仕上がりの満足度を高められます。Vラインのデザインは印象を大きく左右するため、慎重に選ぶことが重要です。

<h3>アフターケアを徹底する</h3>



VIO脱毛後のアフターケアは、肌トラブルを防ぎ、施術効果を最大限に引き出すために欠かせません。

特に以下の3つの方法を実践することが大切です。

- 施術後はぬるめのシャワーにする
- 保湿を徹底する
- 過度な飲酒・運動は避ける

それぞれの方法を詳しく解説します。

<h4>施術後はぬるめのシャワーにする</h4>

ほとんどのクリニックでは、VIO脱毛当日は入浴を禁止しています。施術後の脱毛部位はとても敏感になっているため、入浴の刺激で腫れ・赤み・痛みが誘発されます。そのため、施術後は湯船に浸かるのではなく、シャワーを浴びるのが基本です。

ただし、高温のシャワーも肌を刺激するため、温度をぬるめに設定します。体を洗う際も肌を強くこすらないよう注意します。まんべんなく皮膚にのばすイメージで軽くなぞるだけでも、汚れが自然と落ち、清潔が保たれるでしょう。

<h4>保湿を徹底する</h4>

施術後の肌は乾燥しやすいため、保湿剤を使って十分にケアしましょう。特に、シャワー後は適切な保湿ケアが欠かせません。保湿を怠ると肌が乾燥し、赤みやかゆみなどのリスクが高まります。

シャワー後はクリームで保湿することが大切です。デリケートゾーン用の保湿クリームを選ぶと、敏感な部分にも安心して使用できます。シャワー後の保湿を徹底することで、脱毛後の皮膚トラブルは予防可能です。

<h4>過度な飲酒・運動は避ける</h4>

施術後は肌が敏感になっており、過度な飲酒や激しい運動は控える必要があります。アルコールや運動によって血行が促進されると、赤みや腫れが悪化しやすく、炎症やかゆみが長引く原因になります。

VIOは皮膚が薄く摩擦も受けやすいため、他の部位以上にトラブルが出やすいです。脱毛後24時間は安静にし、湯船に浸かる入浴も避け、シャワーのみで済ませるのが理想です。肌を清潔に保ちつつ、丁寧な保湿ケアを取り入れることで、肌トラブルを防ぎ効果を高められます。

<h3>赤みや痛みが長引く場合は早めに受診する</h3>



脱毛後の赤みや痛みは一時的な反応で、数日で落ち着くことが多いですが、1週間以上続く場合は炎症や火傷の可能性もあります。そのまま放置すると色素沈着や肌トラブルにつながるリスクがあるため、早めにクリニックへ相談することが大切です。

医療脱毛クリニックであれば医師が常駐しているため、必要に応じて軟膏や薬を処方してもらえ、適切なケアを受けられます。自己判断せず専門家に相談することが、後悔しないための大切なポイントです。

<h3>粘膜部分の照射が可能かどうか確認する</h3>

粘膜部分に毛が生えている場合、事前に照射が可能であるかを確認しておくことが推奨されます。VIO脱毛では、粘膜部分への施術がクリニックによって異なるためです。

一部のクリニックでは安全面を考慮して粘膜部分の照射をしないことがあるため、事前に確認することが重要です。また、粘膜部分を施術する場合、リスクや注意点も詳しく説明を受けましょう。

<h3>白髪になる前に施術を受ける</h3>

レーザー脱毛は、黒いメラニン色素に反応して行われるため、白髪には効果がありません。年齢を重ねると白髪が増える可能性があるため、早めに施術を受けることが推奨されます。

白髪を脱毛するためには、ニードル脱毛など高額で時間のかかる施術が必要になります。VIO脱毛を検討している方は、白髪になる前に施術を受けるのがおすすめです。

<h3>あらかじめパートナーに相談しておく</h3>



VIO脱毛のデザインや施術を受けるかどうかは、パートナーと事前に相談しておくことも大切です。ハイジニーナにする場合、見た目の印象が大きく変わるため、事前に共有しておくことで後悔を防げます。

パートナーの意見を聞くことで、自分だけでは気付かない視点から判断できるでしょう。また、施術後にパートナーから嫌がられる心配もなくなります。

<h3>費用相場を確認しておく</h3>

VIO脱毛の費用は、クリニックや施術回数によって異なりますが、一般的な相場を把握しておくことで過剰な出費を防ぐことが可能です。さらに、費用だけでなく、アフターケアや追加施術の費用も確認しておくことで安心です。

また、キャンペーンやセットプランを利用することで、費用を抑えられる場合もあるため、各クリニックの料金体系を比較して選ぶと良いでしょう。

<h3>施術の内容を把握しておく</h3>

VIO脱毛は、施術時に専用のガウンや紙ショーツを着用し、照射部位に応じて足を開くなどの体勢を取る必要があります。初めての方は「どんな格好になるのか」と不安に感じることも多いため、事前に姿勢や服装について確認しておくことで安心です。

クリニックによって対応が異なる場合もあるため、カウンセリングで説明を受けておくことで後悔を防げます。また、施術後の自己処理やアフターケアの方法も理解しておくことで、トラブルを避けつつ効果をしっかり引き出すことが可能です。

ウィルビークリニックでは、痛みの少ない医療脱毛機のみを厳選して導入し、丁寧にコミュニケーションを取りながら、痛みを最小限に抑えた施術を心がけています。東京で医療脱毛を検討している方は、ぜひご相談ください。

[>>東京の新宿・銀座・立川で医療脱毛するならウィルビークリニック](#)

<h2>VIO脱毛で後悔しないためには施術前の自己処理も重要</h2>



VIO脱毛はクリニックでの施術だけでなく、施術前の自己処理の有無によって仕上がりや効果に差が出ます。毛の長さや量が適切でないとレーザーが反応しにくくなったり、痛みや肌トラブルにつながったりすることもあります。

部位ごとに注意点があるため、V・I・Oラインそれぞれの自己処理方法を理解しておきましょう。

<h3>Vラインの自己処理</h3>

Vラインとは、ビキニラインから下着や水着を着たときに見える部分を指します。施術前は毛を1mm以下に整えるのが理想で、肌を傷つけやすいカミソリは避け、電動シェーバーを用いて処理するのがおすすめです。

毛量をすべてなくすハイジニーナにするか、自然に整えるかを事前に決めてから処理をするとスムーズです。Vラインはデザイン性が重要な部位であるため、カウンセリング時に仕上がりイメージを相談しておく心安心です。

<h3>Iラインの自己処理</h3>

Iラインは粘膜に近く皮膚が薄いため、自己処理が最も難しい部位です。カミソリを使うと傷や炎症のリスクが高いため、必ずVIO対応の電気シェーバーを使用しましょう。

処理の際は、鏡を使って角度を確認しながら少しずつ剃ると安全です。ラインは清潔感や蒸れの軽減にも直結するため、丁寧にケアしておくことで施術の効果をしっかり引き出すことが可能です。

<h3>Oラインの自己処理</h3>



Oラインは自分で確認しにくい部位であるため、剃り残しが多いのが特徴です。無理に手を伸ばすと皮膚を傷つけやすいため、鏡を床に置き、しゃがんだ状態で確認しながらシェーバーを動かすのがおすすめです。

毛の流れに沿ってやさしく処理することで肌トラブルを防げます。それでも自己処理が難しい場合は、クリニックに剃り残し対応を依頼しても良いでしょう。Oラインは毛が残りやすいため、事前処理を丁寧に行うかどうかで照射の効果に差が出やすい部位です。

<h3>クリニックで対応してくれる場合もある</h3>

VIOの自己処理はデリケートな部位であるため、完全に自分で処理するのが難しいケースも多いです。そのため、多くのクリニックでは剃り残しがあった場合にスタッフが無料または有料でシェービング対応をしています。

ただし、全面的に任せられるわけではなく、「基本は自己処理、剃り残しのみ対応」というケースが一般的です。施術前にどの範囲まで対応してもらえるかを確認し、無理なくできる部分は自身で処理しておくことが、肌トラブルを防ぐためにも重要です。

<h3>自己処理後の注意点</h3>

自己処理の後は、肌が一時的に敏感になっているため、スキンケアを徹底します。処理直後は低刺激の化粧水やジェルでしっかり保湿し、乾燥や炎症を防ぎましょう。

締め付けの強い下着やナイロン素材は摩擦を生み、かゆみや赤みの原因になるため、綿素材やゆったりした下着を選ぶと安心です。日常生活でも蒸れを避けて清潔に保つことが、肌トラブルを防ぎながら快適に施術を受けるコツです。

<h2>VIO脱毛は男性も後悔することがある？</h2>



近年は男性のVIO脱毛も一般的になってきましたが、施術後に後悔するケースもあります。代表的なのは「思った以上に痛みが強かった」「仕上がりのデザインをよく考えずにすべて処理してしまった」という声です。

さらに、体毛が濃い男性は照射回数が多く必要となり、想定以上の費用や通院回数に負担を感じることも少なくありません。また、ツルツルの状態に慣れず違和感を覚えたり、パートナーの好みに合わず後悔につながったりすることもあります。男性も女性同様、事前に仕上がりのイメージを明確にし、痛みや費用面も理解したうえで選択することが大切です。

<h2>VIO脱毛で後悔しないクリニックの選び方</h2>



VIO脱毛はデリケートな部位に施術するため、クリニック選びが結果の満足度を大きく左右します。VIO脱毛の施術後に後悔しないためには、適切なクリニック選びが大切です。

ここでは、以下の4つの選び方を解説します。

- 予約が取りやすいクリニックを選ぶ
- 施術前に処理をしてくれるクリニックを選ぶ
- 痛み対策が整ったクリニックを選ぶ
- 施術プランや費用が明確なクリニックを選ぶ

それぞれ詳しく解説します。

<h3>予約が取りやすいクリニックを選ぶ</h3>

VIO脱毛は、複数回の施術が必要です。そのため、予約がスムーズに取れるクリニックを選ぶことが重要です。多くの患者が施術を希望する人気のクリニックでは、土日や夕方などの時間帯に予約が集中することが多いです。

公式サイトや口コミをチェックし、キャンセル待ちの制度があるか、次回予約が取りやすいかを確認しましょう。さらに、複数店舗を展開しているクリニックであれば、他店舗での予約も可能な場合があるため便利です。

<h3>施術前に処理をしてくれるクリニックを選ぶ</h3>

施術前の自己処理が不十分だと、肌トラブルの原因になったり、施術が受けられなかったりすることがあります。一部のクリニックでは、施術前にシェービングサービスを提供しており、自分で処理しきれない部分も対応可能です。

IラインやOラインの自己処理が難しい方は、このようなサービスがあるクリニックを選ぶと良いでしょう。ただし、シェービングには追加料金が発生する場合もあるので、事前に確認しておくことをおすすめします。

<h3>痛み対策が整ったクリニックを選ぶ</h3>

VIOは皮膚が薄く神経が集中しているため、レーザー脱毛では強い痛みを感じやすい部位です。そのため、痛みを配慮したクリニックを選ぶことが重要です。表面麻酔クリームや笑気麻酔など、オプションが充実しているかを確認しましょう。

レーザー機器の種類によっても痛みの程度が変わります。冷却機能付きや蓄熱式レーザーなど、痛みを抑える機器を導入しているかどうか大切なポイントです。痛みへの不安を軽減できる環境が整っているか、事前にカウンセリングで確かめておくことが後悔を防ぐコツです。

以下の記事では、医療脱毛の機械はどれが良いのかを解説しています。それぞれの機械の特徴が気になる方は、ぜひ参考にしてみてください。

[「医療脱毛の機械はどれが良い？13種類の機械やレーザーの種類を解説」](#)

<h3>施術プランや費用が明確なクリニックを選ぶ</h3>

VIO脱毛の施術で後悔しないためには、費用面のトラブルを避けることも大切です。施術回数ごとの料金が明確に提示されているか、追加費用が発生しないかを必ず確認しましょう。

「剃り残し対応費用」「キャンセル料」「麻酔代」などが別途必要な場合もあります。パッケージ料金なのか、都度払いなのかもチェックしておく心安いです。

また、効果を実感するために必要な回数は個人差があるため、カウンセリング時に自分に合ったプランを提案してくれるかどうか重要で。費用や回数を曖昧にしたまま契約すると後悔につながるため、透明性の高いクリニックを選ぶことが大切です。

<h2>後悔ばかりって本当？VIO脱毛をするメリット</h2>



VIO脱毛は「後悔する人が多いのでは？」と不安に思う方もいますが、実際にはメリットを感じて満足している方も多くいます。デリケートゾーンならではの悩みや将来的な生活シーンに備えられるのは大きな魅力です。

ここでは、VIO脱毛をするメリットを詳しく解説します。

<h3>自己処理の手間が省ける</h3>

VIO脱毛を受けることで、自己処理の頻度が大幅に減ります。カミソリやシェーバーを使った自己処理は、肌を傷つけたり、毛が濃く見える原因になったりすることも少なくありません。医療脱毛を受けることで、デリケートゾーンの自己処理の手間がなくなるでしょう。

<h3>下着着用時のストレスがなくなる</h3>

VIO脱毛を受けることで、ムダ毛が下着に引っかかる感覚や不快感を軽減できます。ムダ毛がない状態は、ぴったりとした下着や水着を着用しても快適です。また、下着からムダ毛がはみ出す心配もなくなるため、見た目の清潔感も向上するでしょう。

<h3>生理のときに清潔感を保てる</h3>



生理中はムダ毛に経血が絡まることで、不快感を覚えることがあります。しかし、VIO脱毛を受けることで清潔さを保ちやすくなり、生理期間中のストレスを軽減できます。

さらに、ニオイの原因にもなりにくくなるため、生理期間中の不快感も抑えられるでしょう。女性にとって長期間にわたって悩まされる不快感の軽減は、非常に大きなメリットといえます。

<h3>水着や下着のデザインを楽しめる</h3>

VIO脱毛をすることで、自己処理の必要が減り、下着や水着のデザインを自由に楽しめるようになります。自己処理では剃り残し・チクチク感・肌荒れなどが起きやすく、せっかくのおしゃれも台無しになるリスクが高いです。

脱毛することでそうした心配が大幅に減り、ビキニラインから毛がはみ出す不安も解消されます。海やプールでの水着や、大胆なデザインの洋服も気兼ねなく選べるようになり、自信を持ってファッションを楽しむ点は大きなメリットです。見た目だけでなく、清潔感や快適さも向上するでしょう。

<h3>将来の介護時の備えになる</h3>

近年注目されているのが「介護脱毛」という考え方です。将来自分が介護を受ける立場になったとき、アンダーヘアがあると排泄後の清拭やおむつ交換がしにくく、不衛生になりやすいといわれています。

VIO脱毛をしておくことで、介助する側の負担を軽減できるほか、自分自身も清潔を保ちやすくなります。女性だけでなく男性にも広がっており、「将来の安心のために今から準備しておきたい」と考える方が増加中です。エチケットとしても有効で、人生の質を高める長期的なメリットとなります。

ウィルビークリニックでは、痛みの少ない医療脱毛機のみを厳選して導入し、丁寧にコミュニケーションを取りながら、痛みを最小限に抑えた施術を心がけています。東京で医療脱毛を検討している方は、ぜひご相談ください。

[>>東京の新宿・銀座・立川で医療脱毛するならウィルビークリニック](#)

<h2>VIO脱毛に関するよくある質問</h2>



VIO脱毛はデリケートな部位であるため、施術前に多くの疑問や不安を抱える方が少なくありません。ここでは、特によく寄せられる質問を取り上げ、事前を知っておきたいポイントを解説します。

<h3>生理中でも施術を受けられますか？</h3>

生理中はVIO脱毛を受けられないクリニックが多いです。出血による衛生面のリスクに加え、肌が敏感になり痛みや赤みが出やすいため、安全性の観点からも避けることが推奨されています。

ただし、タンポンを着用しての施術やVラインなど外側のみ照射できる場合もあるので、通院先のルールを事前に確認することが大切です。どうしても予定が重なりやすい場合は、生理周期をアプリで管理して予約を調整すると安心です。その場合、キャンセル料がかからないかどうか契約前に確認しておきましょう。

<h3>男性でもVIO脱毛は受けられますか？</h3>

近年は、男性向けのVIO脱毛も広く普及しています。清潔感の向上やムレ・におい対策、自己処理の手間を減らせることから需要が高まっています。男性の場合女性よりも毛量が多いため、照射回数が多く必要となるケースが多いですが、医療脱毛なら効果をしっかりと実感できるでしょう。

また、デザインを整えるナチュラルな仕上げやすべて脱毛する「ハイジニーナ」など、自分のライフスタイルに合わせて選択可能です。痛みや恥ずかしさへの不安がある方は、麻酔や男性スタッフの対応があるクリニックを選ぶと安心です。

<h2>銀座・新宿・立川で医療脱毛をするならウィルビークリニック</h2>

CTA

<h2>まとめ</h2>



この記事では、VIO脱毛の施術で後悔しないためのコツやクリニックの選び方を解説しました。

後悔につながる原因は、痛みや赤み・想定外の高額費用・仕上がりデザインのミスマッチなどさまざまです。しかし、事前にリスクや注意点を理解し、信頼できるクリニックを選べば、その多くは防ぐことが可能です。

この記事を参考に、VIO脱毛のメリットとリスクを正しく理解し、自分に合った方法で快適かつ満足度の高い施術を受けましょう。